

平成30年度 学び舎ひまわり 第4講 開催報告

日 時 平成30年11月10日(土) 10:30~15:30

会 場 港南区役所 601・602 会議室

受講生 35名(地域 22名 区役所 9名 ケアプラザ等 4名)

プログラム内容

自分の地域で実現させたい計画「マイプラン」。ご自身の興味のあること、今地域で起きていること、そしてこれまでの講義をふまえて作ったプランを受講生同士でブラッシュアップし、思いのこもった計画を作ります。プランのブラッシュアップと併せて、日頃の活動についても情報交換が進み、大変楽しい時間となりました。

【ブラッシュアップの様子】



1 グループ (防災・減災)



2グループ (見守り・支えあい)



3グループ (地域の魅力づくり)



4グループ (担い手の確保)



5グループ (健康づくり など)



全体の様子

1 グループ 防災・減災

氏名	タイトル
国本 達男	見守りについで、防災減災含む
金本けい子	防災体験会に参加するのは「自分の為の備え」
繁野 芳彰	「ふるさと港南」守り隊！ ～ 中学生とふるさと地域防災力強化事業～
大沢 政裕	防災防犯意識向上計画
津野野 亮一	地域防災訓練の更なる改善と目指して
嶋田 秀一	地震災害発生時の避難所の避難者 受入対策の提案
木村 圭孝	お気軽ボランティア団の立ち上げ



防災に関する具体的な話や災害時を想定しての案など、どれもふるさと港南を守りたい気持ちであられるものでした（発表者：国本さん）

内海先生からのコメント

マップ作りや防災訓練の方法見直しなど、多岐にわたる内容でした。近頃の防災訓練は、時間や季節を毎年変え、工夫しているところが多くあります。またマップを使った訓練（DIG 訓練）をしているところもあります。災害時の動きを、自助・共助の観点から考えることが必要になります。学生の若い力を生かすことも是非取り入れていただきたいアイデアです。

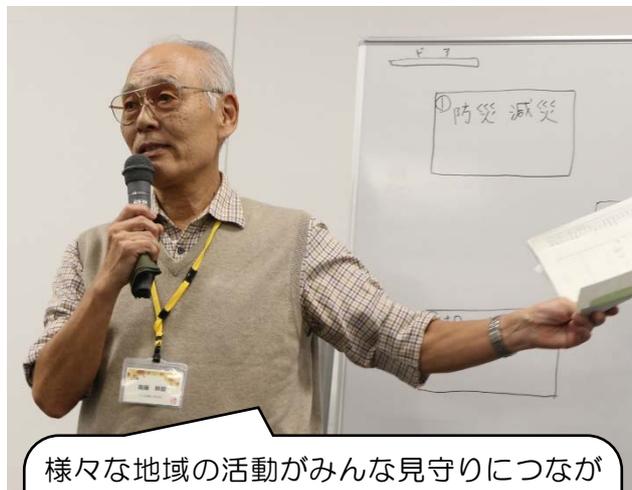


2グループ 見守り支えあい

氏名	タイトル
②④ 丸岡 浩幸	「むずり にちよう茶房」を作る
②⑩ 丸山 貴生	毎日のラジオ体操を通じた緩やかな見守り。
②② 仲川 正敏	推搡ができる地域に
① 衛藤 幹郎	「高齢者の居場所を作るー水曜サロンの活性化ー」
⑦ 原田 真理子	安心して暮らせる町づくり
⑬ 蓮見 紀子	ふるさとを愛する心でつながる 『美味しい'うどん、-160/60の孔!』

内海先生からのコメント

災害時などに備え、日頃からの顔のつながる関係づくりは大切ですが、個人情報やマンションのオートロックなど、阻むものも多くあります。見守り活動は民生委員さんの見守り訪問活動だけではなく、今回のプランにもありますが、サロンや配食・給食、家具の転倒防止の点検などを通じて顔を合わせる機会を作っていくのも有効です。色々な理由をつけて訪問する。それが網目のようにしっかりと組み合わせると、さらに地域の関係作りが進んでいきます。



様々な地域の活動がみんな見守りにつながっていると感じました。そのためにも顔の見える関係を作ることが目標。活動を「見える化」することも大切！（発表者：衛藤さん）

3グループ 地域の魅力づくり

氏名	タイトル
武井 陽子	③① 地域の宝物を探そう！
渡辺 格一郎	③⑦ 空き家を活用した新たな交流場づくり
山野井 功雄	⑧ 大北町内会を知る ～ 3の魅力づくりに向けて
松浦 典子	②③ ^{21 22 23} 3 smiles ハズリイヨ (地域・学校・家庭) ～ サザエエのファミリーを目指して～
内藤 文樹	⑩ ひばり食堂
村本 直也	⑬ 「あざみBar」で世代間交流を！ ～ 町内会館の真のサロン化を目指して～
山田 洋	⑭ まちの井戸端づくり勝手に応援団
渡辺 三由紀	⑮ 若狭谷「夏あひなま」女子会

安西 莉紗

④① 担い手の育成・交流E



男性中心の活動、女性中心の活動、子ども中心の活動など、様々なプランがありました。どれもそれぞれの強みを生かした、素晴らしい内容でした。(発表者：内藤さん)

内海先生からのコメント

ハード面ではシンボルツリーや居場所などの拠点、ソフト面ではイベントなどを通じて人が集まることそのものが魅力の要素となります。また、昔から伝わる道祖神などを大事にしたり、今行っている行事を変えてみたり、地域を客観的に見て、魅力を再構築してみるのも効果的ですが、どんな活動も地域をあげて魅力づくりに取り組むことが必要です。



4グループ 担い手の確保

氏名	70% タイトル
1 黒田 祐輔	⑭ 自治会員と地域住民による新しいグループの場作り による自治会と地域の活性化
2 林 信宏	⑨ 一歩前へ
3 金子 新明	スポーツで仲間になり、1つの国に共通の価値観に。 ⑳
4 六角 久子	⑳ ワンステップ県人会
5 水野 潤子	⑳ 学生ボランティアクラブ ～中高生を中心としたボランティア団体～
6 高橋 伸幸	⑤ 地域創生世代から現役世代へのバトンタッチ
7 加藤 寿夫	⑬ 住民による植栽整備
8 菅野 洋子	⑥ 自治会員の世代間交流の場づくり (次世代を担う人々とつながる場の場)

9 山本 崇彦 ④ 将軍の担い手育成

内海先生からのコメント

住民の興味や関心はバラバラ。それぞれが興味のあるものに関わり、結果協力者が増えるのが一番自然です。地域の活動といっても多種多様なので、ここではこのような活動が出来ます、といった具体的な案内をもらえると、住民が活動に向けて一歩踏み出しやすくなります。またここで若い人が少しでも活動に関わってくれたら、彼らがいずれ地域の活動を引っ張っていってくれるかもしれません。



これまで活動をしていない人が気軽に関われるような行事を企画したり、飲み会の場を設定して楽しく関係性を築くことで自然と地域の活動に関わる人が増えればいいと思います。(発表：高橋さん)

5グループ 健康づくり ほか

氏名	タイトル
藤田 浩二	防災フェアの開催 1. 木田自衛隊 130名 自治会総数に対して 5年継続した... 20% → 不十分
樋田 則彦 菅谷 隆	地域全体が健康づくり 1. 声かけする市が各地トつながる 2. リンクススポーツは非常にいいと思う。
畑 岸 真哉	「月1回外に出ましょ、運動 A-ギョウとせしめる。背景でやってみる。
半浦 淳	地域交流と担い手発掘 ～大運動会、開催～ 1. 中学生は難しい 2. ダンスも積極的に
神原 隆司	地域特性や地域ニーズの変化に即した 地域活動と担い手づくり 1. ケア・イン・コミュニティの活用

内海先生からのコメント

スポーツゴミ拾いや防災フェアなどのイベントは、企業とタイアップして大規模に開催したり、保育園等と一緒に世代間交流を兼ねて楽しみながら行うところなどスタイルは様々。その地区にあった形で開催することを優先しながら、うまくやっているところを真似するのも手です。開催の目的についても、健康づくりだけにとどまらず、見守りや担い手確保の観点からも有意義なものとなると思います。



健康づくりの大切さを地域全体に声掛けすることが必要。地域でクリーンスポーツ大会（ゴミ拾い&ウォーキング）が盛り上がるのは素晴らしいことだと感じました。また行事によってはターゲットを絞ることも大切。（発表者：藤田さん）

学びのまとめ 集計結果

出席 35 名 回答数 32 件 回収率 91%

満足	やや満足	やや不満	不満
25	7	0	0
78%	22%	0%	0%

受講生の声（抜粋）

- ◎マイプランについて、みなさんの様々なアイデア、地域の事情など具体的、本音も含めて伺う事ができ、参考になりました。
- ◎担い手、空家問題、世代間交流等の地域課題のホットな話題について、実りある話し合いをする事ができました。
- ◎悩みは、同じなんだなあ…。あまり気負わずに実行に移すことが、実現可能性を高めることかなと思いました。
- ◎地域交流のきっかけとして、県人会の話が出ていました。新しいコミュニティ作りに良いと感じました。
- ◎メンバーそれぞれがお互いに意見やアドバイスをし合える事で新たな気づきや課題の発見がありました。人からの意見を聞く事で、“独りよがり”プランを良いカタチに仕上げられます。
- ◎意見交換で良い所、アイデアを出し合い参考になります。それをきっかけに話が発展し、雑談に花が咲き、雑談からさらに良いアイデアが出ていました。
- ◎切り口を変える、発想を変える。この事で、目的に遠回りのようですが、繋がっていきます。知識不足だったのでポイントに合った質問ができなくて残念！
- ◎地域の皆さんが興味・関心のある事を具体的に提示し、協力してもらいやすくする工夫が必要です。そのあと引き留めて自治会町内会の担い手に育てていくことが大事だと思います。
- ◎グループ分けを当日行っていますが、事前にグループ分け出来ないか、検討の余地があると思います。
- ◎深く話す時間がなく途中で終わってしまったことは、残念。

